

平成20年9月12日

日本原燃(株)再処理施設高レベル廃液ガラス固化建屋ガラス溶融炉A におけるガラスの流下停止について(第2報)

アクティブ試験中の日本原燃(株)再処理施設において、7月3日に発生した再処理施設高レベル廃液ガラス固化建屋ガラス溶融炉Aにおけるガラスの流下停止に関し、日本原燃(株)は、本日(平成20年9月12日)、原子力安全・保安院(以下「当院」という。)に対し、現時点における原因調査の状況と今後の対応に係る報告書を提出した。

1. 日本原燃(株)からの報告書の要点

(1) 現時点における原因調査の状況

設備の点検及び調査等

- ・ 高周波加熱装置、流下ノズルの加熱性、および結合装置の状況確認
- ・ 流下ノズル下端周辺におけるガラス等の付着物の除去
- ・ 結合装置内部の観察
- ・ 運転データおよび流下状況の確認

流下ノズル上端部にガラス等が付着していた要因分析(可能性)

- ・ 流下ノズル出口がガラス等でふさがれた状態で流下ノズルから流れたガラスが上昇
- ・ 流下ノズル上端部周辺のクラック等からガラスが流出
- ・ ガラス中の揮発性物質が揮発し付着

(2) 今後の対応

日本原燃(株)は、今後、流下停止に関する原因究明のためにガラスの流下を行うことにより、流下ノズルの健全性及び流下性の確認試験を実施することとしている。

2. 原子力安全・保安院の対応

当院は、日本原燃(株)から今回提出された報告書について、専門家の意見も伺いつつ内容を確認していく。

また、日本原燃(株)は、今後の確認試験等の結果を踏まえ、最終的な推定原因及び再発防止対策に係る報告書を提出することとなっている。当院は今後、提出される最終的な報告書を精査していく。

(I N E S による暫定評価)

基準 1	基準 2	基準 3	評価レベル
-	-	0	0

(本発表資料のお問い合わせ先)

原子力安全・保安院 原子力事故故障対策室

担当者：森下、忠内

電話：03 - 3501 - 1511 (内線4911)

03 - 3501 - 1637 (直通)